

第6回 たつやま凸凹マラニック(冬)

浜松市天竜区龍山町、ココの秋葉ダム湖両側にある斜面集落を巡るマラニックです。

秋葉ダムが完成したのが1958年、ダムに水没した集落があり水没しなかった村がある。残された者が地域の文化・伝統を守り生きてきた。時は過ぎ時代は変わった。平成の大合併があり若い人は街へ流れ子供の声は聞こえない、小学校も中学校もなくなってきた中山間地 龍山の現実、歩き走りのマラニックで見て感じて触れ合っただけを過ごしましょう。 スタートゴールには龍山村時代に建てられた「やすらぎの湯」お風呂があります。

開催日 2018年 1月20日(土)

集合場所 浜松市天竜区龍山町秋葉ダム東湖岸「やすらぎの湯」8時半集合

スタート やすらぎの湯(荘川桜前) 9時00分

ゴール やすらぎの湯(荘川桜前) 17時00分(制限時間9時間)

コース やすらぎの湯 → 峰の沢橋(トイレ有) → 青谷 → 不動の滝 → 寺尾(トイレ有) → 瀬尻橋(トイレ有) → 上平山 → 下平山(トイレ有 渡辺バリエード) → やすらぎの湯(約37km)

ルートラボ <http://latlonglab.yahoo.co.jp/route/watch?id=af7b0a12041373f5d3317dd5a6a4a05e>

マラニック方法

基本的には、サポートなしエイドなし荷物預けなし、マラニック中の給水・給食及び必要と思われるものは各自持って走ってください。全ては自己責任で。

参加方法 別紙の申込書に必要事項を記入し申込先に送付、または直接持ってきてください。

初めての方はコースマップを用意します。



第6回 たつやま凸凹マラニック(春)

開催日 2018年 3月31日(土)

集合場所・スタート・ゴール・コースは上記と同じです。

このマラニック(ほくえん旅ラン)の趣旨

佐久間町に暮らす“新聞”が、平成の大合併で佐久間町が浜松市との合併を選び、益々中山間地は過疎化が進んでいこうと思っているときに、遠い先のことを思い悩んでいるより今、この時を楽しもうと始めた「ほくえん旅ラン」です。一人で走るより二人、二人より三人、顔見知りの仲間楽しく走るエンジョイ・マラニック目指しています。早い人も遅い人も参加者も呼びかけ人もみんなで作り上げるマラニック、町に住む人も田舎に暮らす人もみんなこの地球に行き来している仲間、そんな思いで行っています。

荘川桜でさくら道を作った、佐藤良二さんの残した言葉

「この地球上に、天の川のような美しい花の星座をつくりたい。花を見る心がひとつになって、人々が仲良く暮らせるように」 この言葉が原点にあります。